

永田町新潮流 平沢勝栄



俺がやらねば

東京都議選(7月2日 投開票)が大詰めを迎えている。国政に連動している選挙だけにどの候補者も追い込みに必死だ。この選挙で自民党は「オウンゴール」が重なり苦戦を強いられる。このことは駅や街頭に立てば、すぐ分かる。街の空気は、明らかに今までの選挙と異なる。ヤジを投げかける人もいれば、手をクロスにして「応援しない」という意思表示をする人も目立つ。

テロ等準備罪新設法や加計学園の問題なども、あるいは影響しているの

かもれない。しかし、欧米などの国にも日本より処罰範囲がはるかに広い共謀罪があり犯罪抑止に役立つている。反対とって大騒ぎしているのは日本くらいだろう。

加計学園の問題では多くの文書が出たが、その内容の真偽は必ずしも明らかでない。しかし、一部マスコミはあたかも文

自民党は反省し、謙虚な姿勢取り戻せ

書の内容が真実であるかのような報道ぶりだ。政府には丁寧に説明して、あらぬ誤解を解く努力をしてももらいたいと思う。

今、自民党支援者の気持ちを一言でいえば、「反省しろよ! 自民党。だけど、やっぱり自民党」ということだ。自民党はこうした人たちの期待に応えていかなければならない。まずは反省すべきは反省し、改めるところは改める謙虚さを持つことが大事だ。そうすることで初めて自民党は国民の支持を得ることが出来るだろう。

(自民党広報本部長)

自民党を離脱した豊田真由子衆院議員の暴言もオウンゴールだ。言語に絶するすさまじい音声が、テレビを通じて全家庭に流れた。豊田氏の言

した責任がある。私たちは率直に国民におわびをしなければなら

「適切なことを適切な時に適切な感情で言うことが大事」、そして「自信と謙虚さを持つことが大事」の3つだ。

別の年の党大会では、作家の曾野綾子さんが「慎みと誠実さを欠く全